地図を調べる

出典：『名古屋市全圖（1943 年）』

鶴舞中央図書館所蔵の様々な地図の中から、土地の利用状況を調べることができる地図（地形図・住宅地図）、地番や用途地域が記された地図（ブルーマップ・土地宝典）など利用の多いものを紹介します。

1. 土地の利用状況を調べることができる地図（地形図、住宅地図、都市地図）
2. 地番や用途地域が記された地図（ブルーマップ、土地宝典・地籍図）
3. 都市計画の内容がわかる地図（復興土地区画整理事業施行工区図、都市計画基本図）
4. 地質・地盤・防災に関する地図（地質図・地盤図、防災マップ）
5. 土地の価格に関する地図（路線価図、地価公示・地価調査）
6. 空中写真・航空写真

📖：図書　🌐：インターネット

1．　土地の利用状況を調べることができる地図

1-1．　地形図（明治以降の地域の変遷も調べられます）

地形図には、山・川・平野、植生・土地利用・集落形態等が表示されています。名古屋近郊については複製された昔の地形図も所蔵していますので、特定の場所の変遷をたどることもできます。

● 5 万分 1 地形図

名古屋近郊	図郭：名古屋北部・名古屋南部の明治末～平成を所蔵
日本全国	明治 30～大正年代、昭和 20～30 年代、昭和 40 年代、平成を所蔵

●2 万 5 千分 1 地形図

名古屋近郊	図郭：一宮・清洲・蟹江・飛島・小牧・名古屋北部・名古屋南部・鳴海・高蔵寺・瀬戸・平針・知立の大正～平成を所蔵
日本全国	昭和 22～36 年頃、昭和 40 年代、昭和 50 年代、平成を所蔵

●1 万分 1 地形図

名古屋近郊	昭和 12 年、昭和 28 年頃、昭和 63～平成元年頃、平成 6 ～10 年頃のものを所蔵

📖『明治・昭和東海都市地図』　清水靖夫／編集　柏書房　1996 年　［大型地図 N2915］

東海地方の一部の地域の 2 万 5 千分 1 地形図（明治 22～24 年（1889～1891 年）・昭和 43～46 年（1968～1971 年）頃）と、名古屋市近郊の 1 万分 1 地形図（明治 24 年（1891 年）・昭和 12 年（1937 年）・昭和 28 年（1953 年）頃）が比較できます。

📖『正式二万分一地形図集成』　地図資料編纂会／編集　柏書房　2001-2003 年　［LL 291］

陸地測量部が明治 18～43 年（1885～1910 年）に測量した地形図（当初は正式地形図、明治 31 年（1898 年）、基本測図（基本図）と改称）の復刻。名古屋周辺は明治 23～26 年（1890～1893 年）測量の地形図が「中部日本 2」に掲載されています。このうち一部は、前述の『明治・昭和東海都市地図』に 2 万 5 千分 1 に縮小集成・1 万分 1 に伸図調整したものが掲載されています。

📖『日本図誌大系』全１２巻　山口恵一郎／等編　朝倉書店　1972-1980 年　［N291］

明治から昭和にかけての各地域の地形図を年代順に配列し、各地域研究家による解説がついた資料。愛知県は第 3 - 1 「中部I」に掲載されています。

「名古屋市都市計画情報提供サービス」名古屋市住宅都市局(http://www2.wagmap.jp/nagoya-tokei/)

昭和 30 年（1955 年）度より概ね 5 年毎に作成しており、異なる年代の地形図を 2 画面で並べて表示することもできます。

1-2.　住宅地図（主に昭和 30 年代以降の土地の利用状況を調べたいときに）

住宅地図とは、土地の区画に加え、個々の世帯名や建物名を記載した地図の総称です。「航空地図」「明細地図」「住宅宝典」などと呼ばれることもあります。戸別名は表札や看板の表示を基本にしているので、土地、建物の所有者を示すものではありません。縮尺は 1500 分の 1 から 3000 分の 1 程度のものが大部分を占めています。

●所蔵範囲

住宅地図	愛知県	昭和 30 年～	いずれも所蔵のない年が多数あります。所蔵のうち最新版は 2 階開架、それ以前は書庫にあります。
	岐阜県	昭和 46 年～	
	三重県	昭和 46 年～	

！　昭和 30 年以前の名古屋の居住者を調べるには

📖『名古屋市居住者全図』（大正 15 年（1926 年）、昭和 4 年（1929 年）、８年（1933 年））

収録範囲は、現在の中区周辺のごく一部の地域のみです。

また、江戸時代から明治初期の名古屋城下図には居住者の記載されたものがいくつかあります。

（⇒　鶴舞中央図書館所蔵の名古屋城下図一覧［武士名記載分］）。

1-3.　都市地図

一枚ものの地図で、鉄道・道路・公共施設・商業施設などが掲載されています。広域図や市の中心部の拡大

図が収録されている場合もあります。

●所蔵範囲

名古屋近郊	昭和 56～57、60～62、平成 9～10、18～19、26～28 年を所蔵。	地域によって所蔵している年が異なります。書庫にあります。
日本全国	平成 2～4、9～10、15～16（東京都区のみ）、18～19、26～28 年を所蔵。	

2． 地番や用途地域が記された地図

2-1． ブルーマップ

「地番」と「住居表示番号」（建物にふられた番号で住所をあらわす）をわかりやすく対照できる地図で、公図情報や都市計画用途地域の情報も記されています。法務局で登記簿を閲覧したり、登記事項証明書等を申請する際に必要となる地番を調べるのに用いられます。

●所蔵範囲

ブルーマップ	名古屋市	平成 8 年～	所蔵のない年もあります。所蔵のうち最も新しいものは 2 階開架、それ以前は書庫にあります。

2-2． 土地宝典・地籍図

土地宝典は公図、土地台帳などを照合して作成され、地番、地目、字界、行政界が記載された地図です。

●所蔵範囲

土地宝典	愛知県	昭和 9～平成 9 年頃	名古屋市全区と愛知県内の一部地域を所蔵しています。所蔵していない年もあります。書庫にあります。

！ 「土地宝典」の検索方法

名古屋市図書館資料検索（名古屋市図書館 OPAC）で検索対象を「件名」にして、“土地台帳”と検索してください。

📖『愛知県名古屋区市街地籍全図』　名古屋市土木局　1986 年　［NA295］

明治 18 年（1885 年）頃に完成した地籍全図の復刻。市制施行前の名古屋区（現在の中・東・西区の各区の一部）の範囲の地番などがわかります。

📖『地籍図で探る古墳の姿〈尾張編〉』　伊藤秋男／著　人間社　2010 年　［A24］

明治 17～18 年（1884～1885 年）にかけて作成された地籍図（愛知県公文書館所蔵）に見られる尾張地域の塚・古墳情報を一覧できるようにしたもので、部分的ですが塚・古墳情報が加筆された地籍図の複製があります。

「愛知県公文書館所蔵資料検索システム」愛知県公文書館
（https://www.i-repository.net/il/meta_pub/G0000606oudan）

愛知県公文書館の地籍帳・地籍図の所蔵状況について調べることができます。なお、『愛知県公文書館

だより　第 10 号』(平成 17 年（2005 年）12 月 25 日）に愛知県公文書館の閲覧室で利用できる「地籍図閲覧システム」の利用方法について紹介されているほか、地籍図・地籍帳の所蔵範囲についてまとめられています。

3.　都市計画の内容がわかる地図

3-1　復興土地区画整理事業施行工区図

名古屋市は、第二次世界大戦で受けた空襲により、市域の約 4 分の 1 が焼失しました。昭和 21 年（1946 年）から、復興土地区画整理事業が開始され、該当地域を 48 の工区に分けて整備がすすめられました。復興土地区画整理事業施行工区図は、工区ごとの縮尺 3000 分の 1 の地図で、道路の整備・建物の移転の状況などが記されています。

●所蔵範囲

復興土地区画整理事業施行工区図	名古屋市	［昭和 57 年］	書庫にあります。

3-2　都市計画基本図（地形図）

名古屋都市計画基本図は、名古屋市を 142 に区分した縮尺 2500 分の 1 のモノクロの地図です。道路などが記載され、土地の高低（標高）を読み取ることができるように 2 メートルごとの等高線、多くの地点の標高値が記されています。

インターネットの「名古屋市都市計画情報提供サービス」（http://www2.wagmap.jp/nagoya-tokei/）で閲覧できます。

●紙版の所蔵範囲

都市計画基本図	名古屋市	平成 12 年、平成 18 年、平成 22 年、平成 29 年発行（平成 27、28 年測量）	書庫にあります。

4.　地質・地盤・防災に関する地図

4-1.　地質図・地盤図

📖『日本地質図大系』　猪木幸男／総編集　朝倉書店　1991-1997 年　[LL N4551]

📖『最新名古屋地盤図』　土質工学会中部支部／編著　名古屋地盤図出版会　1988 年　[NA51]

名古屋地盤についての地質学的、土質工学的、建築基礎工学的研究成果をわかり易く記述した解説編と、ボーリング柱状図、土質試験結果などが掲載された資料編、そして地質図ならびに別冊の『名古屋地域地質断面図集』などからなります。

📖『名古屋地域地質断面図集』　名古屋地盤図出版会　1987 年　[NA51]

4-2.　防災マップ

📖『なごやハザードマップ防災ガイドブック』　名古屋市　2023 年　[A3693]

各区版があります。ガイドブックの付図として、指定避難所マップ・洪水ハザードマップ・内水氾濫ハザードマップ・地震ハザードマップのほか、各区の実情に合わせてため池ハザードマップ・高潮

ハザードマップ・津波ハザードマップがついています。

📖『地震災害危険度評価各区版拡大図　震災に強いまちづくり方針』　名古屋市　2015 年　[A369]

地震による建物倒壊・道路閉塞・火災延焼の危険性が表示されています。

インターネットの「名古屋市都市計画情報提供サービス」（http://www2.wagmap.jp/nagoya-tokei/）でも閲覧できます。

5.　土地価格に関する地図

土地の価格（地価）には、実際の取引価格（実勢価格）のほかに、取引価格の指標とすることを目的とする地価公示・都道府県地価調査、課税標準額を定めることを目的とする路線価などがあります。ここでは、これらの土地価格が表示された地図などをご紹介します。なお、近年の土地価格に関する情報はインターネットで入手することができます。

「不動産情報ライブラリ」　国土交通省　（https://www.reinfolib.mlit.go.jp）

不動産取引価格情報（四半期毎：取引当事者へのアンケート調査）、地価公示（1 月 1 日時点・3 月公表：鑑定評価）や都道府県地価調査（7 月 1 日時点・9 月公表：鑑定評価）の基準地及び 1 平方メートル当たりの価格を地図上で確認することができます。

5-1.　地価公示・地価調査

地価公示は毎年 1 月 1 日時点の価格が 3 月の官報に、都道府県地価調査は 7 月 1 日時点の価格が 9 月の各都道府県の公報に掲載されます。

📖『地価マップ都市計画用途地域図愛知県』　ゼンリン名古屋支店　年刊　[A33]

平成元～21 年（1989～2009 年）。都市計画用途地域を色分け表示した地図に地価公示・地価調査の基準地及び 1 平方メートル当たりの価格が表示されています。

📖『地価公示標準地の付近案内図　愛知県』　年刊　[Ａ33]

昭和 63～平成 24 年（1988～2012 年）。各標準地の付近案内図があります。

📖『愛知県地価調査基準地案内図』　愛知県地域振興部土地水資源課　年刊　[Ａ33]

昭和 53～54 年（1978～1979 年）、平成 5～21 年（1993～2009 年）。各標準地の付近案内図があります。

📖『地価公示』　国土交通省土地鑑定委員会　年刊　[R3346]

昭和 45 年（1970 年）～令和元年（2019 年）。令和 2 年（2020 年）より愛知県版のみ所蔵。地図はありません。

「不動産情報ライブラリ」　国土交通省　（https://www.reinfolib.mlit.go.jp）

昭和 45 年以降の全国の地価公示を閲覧できます。

5-2.　路線価図

土地に対する相続税や贈与税に適用される評価値を記した地図です。路線価は、路線（道路）に面する標準的な宅地の 1 平方メートル当たりの価額のことで、路線価が定められている地域の土地等を評価する場合に用いられます。国税庁により毎年 7 月に公表されます。

●所蔵範囲

路線価図	愛知県	昭和 52～54 年、昭和 60 年～	書名『相続税財産評価基準』で検索するとヒットします。最新のものは２階郷土資料コーナー、それ以前は書庫にあります。なお、路線価の公表後、図書館で閲覧できるようになるまでに数ヶ月かかります。

「財産評価基準書　路線価図・評価倍率表」　国税庁　（http://www.rosenka.nta.go.jp/）

全国の路線価図と評価倍率表を最新版から７年分閲覧できます。

6．空中写真・航空写真（戦後から現在の空からみた地域の様子がわかります）

空中写真・航空写真は、飛行機に搭載した航空カメラを使って撮影された写真です。

●航空写真集

『鯱　空から見た戦後 40 年の変貌』　日本航空写真刊行会／編　1987 年　［NA295］

昭和 21～23 年（1946～1948 年）撮影のモノクロ写真と昭和 60 年（1985 年）撮影のカラー写真を見開きで比較できるようにした名古屋の航空写真集です。また、一部の地域のみですが旧陸軍陸地測量部が昭和 11～17 年（1936～1942 年）に撮影した写真を集大成した「まぼろしの写真」（航空写真集）も収録されています。

『名古屋市航空写真地図帳』　住宅地図協会／編　住宅地図協会　1964 年　［SLA28］

昭和 38～39 年（1963～1964 年）撮影のモノクロ写真。主要な施設名が表示されているため判読は比較的容易です。

『空から見た名古屋岐阜とその周辺』　日本交通公社　1982 年　［NA295］

昭和 56 年（1981 年）撮影のカラー写真。

『名古屋市主部　カラーフォトタウンマップ』　日本地図センター／編集　1983 年　［A295］

昭和 58 年（1983 年）撮影のカラー写真。１枚物の地図で、Ⅰ：名古屋駅周辺、Ⅱ：栄周辺、Ⅲ：中村区・中川区周辺、Ⅳ：金山周辺、Ⅴ：中川区一帯の行政区画や主要建物がわかります。

『空から見た名古屋市』　中日新聞社／編　1989 年　［NA295］

昭和 63 年（1988 年）撮影のカラー写真。「空から見た○○」はほかに、尾張、尾張東部知多、西三河、東三河などがあります。

『空撮名古屋区分　生活密着地図（アトラスＲＤ区分）』　ヤフー　2010 年　［A295］

平成 20 年（2008 年）９月撮影のカラー写真。詳細図（道路地図）と航空写真が比較できます。

●インターネット

「地図・空中写真閲覧サービス」国土地理院（https://mapps.gsi.go.jp/）

国土地理院が所蔵する地図・空中写真を検索・閲覧できます。

「名古屋市都市計画情報提供サービス」名古屋市住宅都市局

（http://www2.wagmap.jp/nagoya-tokei/）

都市計画基本図を作成する際に撮影した昭和 30～平成 17 年（1955～2005 年）の空中写真が閲覧できます。

「Google マップ」（https://google.co.jp/maps/）

グーグル社が提供しているインターネット上の無料の地図です。住所だけでなく企業名などからも

検索できます。航空写真・衛星写真の他、ストリートビュー（地上で撮影された 360 度パノラマ写真）の表示ができます。ストリートビューは過去にさかのぼって表示させる機能があります。

作成：名古屋市図書館（2025 年 3 月改訂）